

令和4年度「アート・フォー・オール推進モデル事業」の 助成金交付事業を選定しました

川崎市では、令和6(2024)年の市制100周年とその先の100年を見据え、従来の枠にとらわれない自由な発想で、誰もが文化芸術に触れ、参加できるアート・フォー・オールの環境づくりを進めています。

今年度、令和4年6月15日(水)から7月22日(金)まで、モデル事業の募集を行い、審査の結果、次のとおり、助成金交付事業を3件決定しました。(応募15件)

- 助成金総額
300万円(概算) ※事業終了後に助成金額を確定します。
- 事業実施期間
令和4年9月～令和5年2月

事業① アートとweb3が描く未来都市

【事業名】 【Next100-Kawasaki】アートとweb3が描く未来都市

【団体名/代表者】 NPO法人studio FLAT / 大平 暁

【事業概要】

イベントにて、巨大な白地図「Next100-Kawasaki」に、市民が多様な素材を自由に使ってオブジェクトを創作し、未来の川崎を彩っていく。完成した作品はNFT(偽造不可な鑑定書・証明書付きのデジタルデータ)としてWeb上に発行するとともに、新しいテクノロジーを身近に感じていただくため、専門家によるオンライン対談イベントも実施する。

事業② 生田緑地アートピクニック

【事業名】 みるみる、なるなる、つくるくる ～生田緑地アートピクニック～

【団体名/代表者】 TAMA VOICES / 熊谷 薫

【事業概要】

生田緑地を活用し、「みる・なる・つくる」をキーワードに、作品の鑑賞ワークショップ、生田緑地にあるものからインスピレーションを得ての身体ワークショップショー、生田緑地の自然物を使った自然環境の勉強にもなる造形ワークショップを行う。

事業③ 新丸子のまちの『架空の物語』

【事業名】 文芸作品づくりを通じた地域への愛着向上事業「新丸子のまちの『架空の物語』」

【団体名/代表者】 まちの『架空の物語』づくり実行委員会 / 横井 史恵

【事業概要】

参加型のワークショップ等を経て、読者の選択で物語の展開と結末が変わる、「演劇クエスト『(仮称)新丸子のまちの架空の物語』」を創作する。

作品は、商業施設・公共施設や「コスタアート ラ・ファブリカ」等のイベントにて無料配布。誰もがまちを舞台にした作品を楽しむことができる。

※各事業の詳細が決まりましたらホームページ等でお知らせします。

※事業は五十音順としております。

<問合せ先>

川崎市市民文化局市民文化振興室 松山

電話：044-200-2122